

CS たより

風の子 太陽の子

～ともに未来を創る～

令和4年6月28日
相生小学校コミュニティスクール（CS）第2号

令和4年6月15日（水曜日）第2回目の学校運営協議会が開催されました。第一部（13時50分～14時20分）は6年生の総合的な学習の時間の授業参観でした。ICTを活用して偉人の足跡を調査しました。お互いにコミュニケーションをとる子供たちの姿は、まさにデジタルネイティブ世代だと感じました。



第二部（14時20分～15時45分）は多目的室に戻り、運営会議の会議開会となりました。協議事項として、①相生小学校のキャリア教育について、②支援策の具体化という2点について、会長の指示で、鈴木麻衣子議長の下、熟議を行いました。

① キャリア教育について

校長より相生小学校のキャリア教育について、詳細な説明がありました。

② 支援策の具体化

鈴木議長による問い掛けで、委員全員から活発な意見が出されました。

（熟議の中の意見要約）

- ・参考として他校の学校支援活動内容の報告（気賀小・萩丘小）。
- ・相生小学校は独自の支援活動を目指していく。
- ・6年生の総合的な学習の時間の授業を参観して、実体験も含め、選択肢を広げるキャリアプランは良いと思った。データ情報でない生の情報による知識取得も重要である。
- ・支援活動は、具体的な要請があれば、協力体制の構築は可能ではないか。

- ・子供たちの将来の選択肢を広げていけるような支援が必要である。
- ・学校単位ではなく、学年単位の支援が必要である。
- ・便利なICTだけでなく、顔を突き合わせた言葉のコミュニケーションが重要である。
- ・ICTの活用で、いろいろなことを調べることができ、すごいと思う反面、怖いと感じる。最近のデジタル化された授業は進みすぎてついていけないと思った。
- ・タブレットもいいが、読書を進めていきたい。子供たちには、見識的な幅がないから歴史を学んで賢人の生き方を学んでほしい。

熟議の結果、相生小学校の具体的な支援活動の内容とスケジュールを次回の会議前に各学年主任と協議をした上で、まとめていくことで、最終的に方向性を決定いたしました。また、子供たちの意見を聞くことの重要性も共通認識いたしました。



次回の運営協議会は、令和4年10月18日(火)に多目的室で開催する予定です。